

環境ラベルプログラム 統合化に関して

(既存事業者向け)

※ 2017年3月末時点においてCFP・エコリーフプログラムで登録公開実績のある事業者様向けの資料です。



一般社団法人サステナブル経営推進機構

2019年11月（運営者変更）

統合化の狙いと概要

- LCAをベースとしたよく似た構造を持つエコリーフプログラムとCFPプログラムという2つのプログラムを1つの共通のプラットフォームをベースに統一した統合プログラムとする
- 統合プログラムの名称は“**エコリーフ環境ラベルプログラム**”とする
- 共通化に伴い、複雑化したプログラムルールを一本化し、さらに簡素なものに置き換えることにより、参加事業者及び事務局側の双方にとって運用し易いプログラムにする
- 複数影響領域(マルチクライテリア)対応を強化したプログラムとする
- 複数影響領域(マルチクライテリア)を開示する宣言はエコリーフ、気候変動のみの単一影響領域(シングルクライテリア)を開示する宣言はCFPとして現在の宣言(ラベル)名称(エコリーフ、カーボンフットプリント)及びロゴマークは統合プログラムでも継続する

国内外のグリーン購入基準やISO対応について



国内

- **グリーン購入法**: 基本方針で「環境物品等の調達に際しては、できる限りライフサイクル全体にわたって多様な環境負荷の低減を考慮することが望ましい」とされている。「**プレミアム基準ガイドライン(H25年/2013年)**」では**カーボンフットプリント、エコリーフ等の認定製品であることを推奨**する記載がなされた。
- **地球温暖化対策計画(H28年6月閣議決定)**: **2030年までの中期目標**において、事業者の基本的役割として、製品・サービスの提供に当たってのライフサイクルを通じた環境負荷を低減することとし、**環境に配慮した事業活動や環境配慮型製品が社会や市場から高く評価されるためカーボンフットプリントの普及促進**などを進めることとしている。

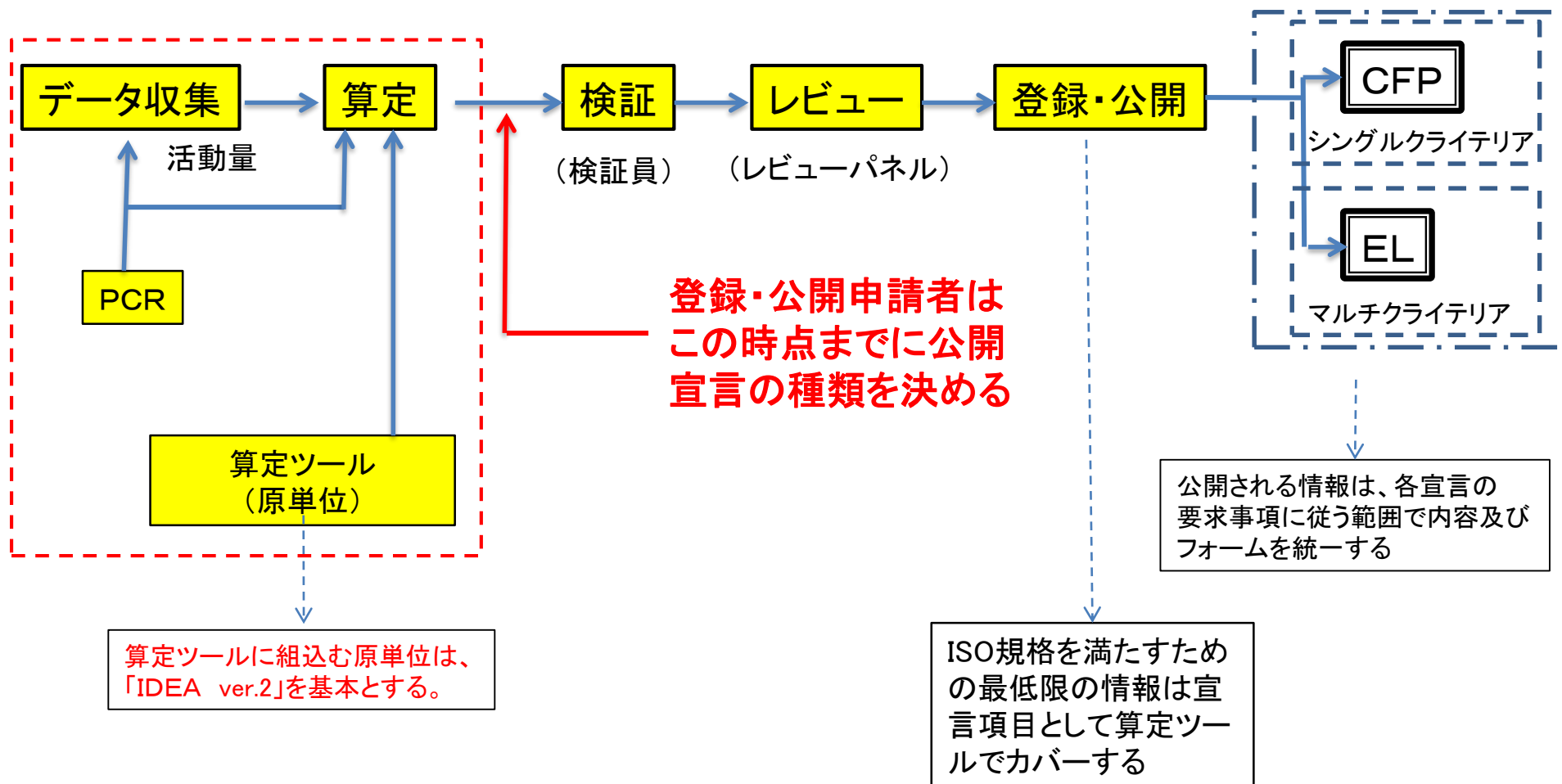
国外

- **EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool)**
 - 画像機器製品のEPEAT登録基準には、**ISO14040/14044**に準拠したCradle-to-GraveのLCA実施、第三者機関における検証またはLCA評価の一般公開に関しては**ISO/TS14067**準拠のカーボンフットプリント情報宣言、**ISO14025**準拠のEPDによる公開が加点対象となっている。
 - EPDで2次データの情報の出典を明確にする事も求められる。
 - 現在、開発中のサーバーと太陽光パネルの基準案にも、同様の国際規格への準拠が求められている。
- **LEED (Leadership in Energy & Environmental Design)**
 - 建材のCradle-to-Gate以上のスコープを満たす**ISO14044**準拠のLCA実施
 - **ISO14025**準拠のEPDで情報公開をしている建材
 - **ISO21930**または**EN15804**準拠のEPD
 - **建材の5社以上20品目以上についてEPD取得した建築物が加点対象**

統合の概要(イメージ図)

(統合版)エコリーフ環境ラベルプログラム

単一影響領域(シングルクライテリア)か複数影響領域(マルチクライテリア)かを問わずプロセスは一体化(黄色の枠部分)



PCRの策定・改訂手続きー1 (新規策定)

WG募集

策定時には、WGの募集を行います。
応募が無い場合は、1社での策定も可能です。

WGで原案作成

WGで原案を作成します。

申請

原案を事務局へ提出します。

意見公募

広く一般に意見公募を行います。
(公募期間は、最低10営業日)

事前レビュー

レビューアによる事前レビューを実施します。

レビューパネル

専門家によるパネルで認定を行います。
(事業者の立ち合いは不要です)

公開

統合プログラムのWEBサイトで公開され、
検証申請が可能となります。

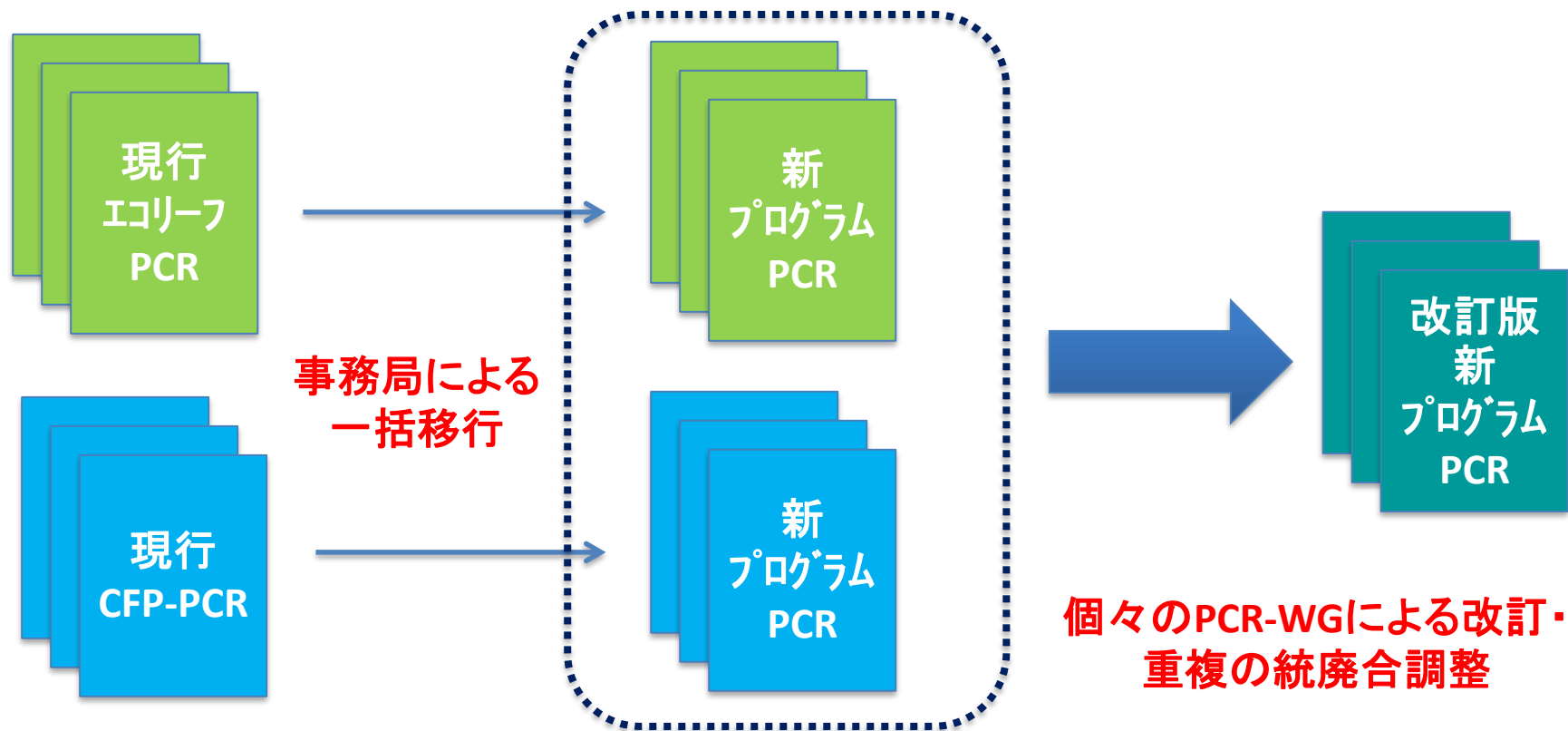
PCRの策定・改訂手続きー2 (従来プログラムのPCR一本化)



- プラットフォーム共通化の一環として、現在エコリーフ/CFPで異なる内容とフォームで作られているPCR、CFP-PCRを、両者に対応する共通PCRとして新たに策定します。
 - 共通化のベースとしては、従来のCFP-PCRの内容・フォームを基本とします。
 - 統合後のプログラムで検証を受けるためには、統合版のPCRが必要です。
 - すでにエコリーフPCR、CFP-PCRが存在する製品分野については、事務局にて一括登録を行います。事業者による策定作業は不要です。
- ★使用頻度の高いPCRから作業を行いますので、公開に時差が発生します。
お急ぎのご要望があるPCRについては、優先的に実施しますので、ご連絡ください。
- ★事務局による移行登録は、全PCRを共通・一般的な考え方で実施します。
個々の製品・サービスの特性により、統合プログラムで再検討を行った方がよいと思われる場合は、WGにより改訂を実施してください。

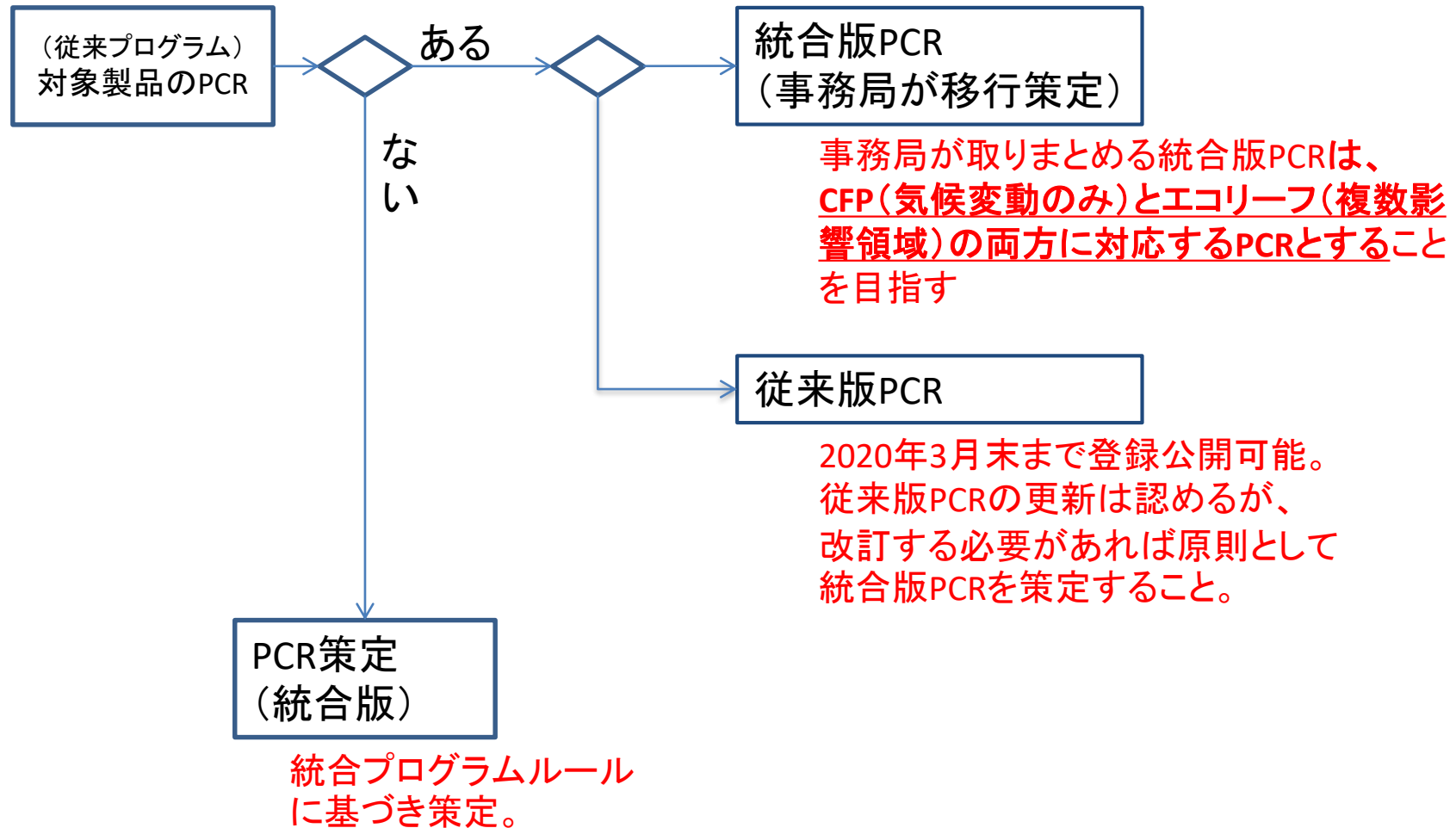
PCRの策定・改訂手続き一3 (従来プログラムのPCR一本化)

すでにエコリーフ/CFPそれぞれで策定済みのPCRがある場合、そのPCRの算定方法を生かす形で一括移行を行います。



※ELとCFPで同じ製品分野のPCRがある場合、重複したPCRができることとなります。
(PS版、画像入出力機器、IT機器、オフィス用品、容器包装類等。)

2017年4月以降のPCRの扱い



統合プログラムで使用する原単位について

ライフサイクルインベントリ分析に使用する 原単位データベース: IDEA v2



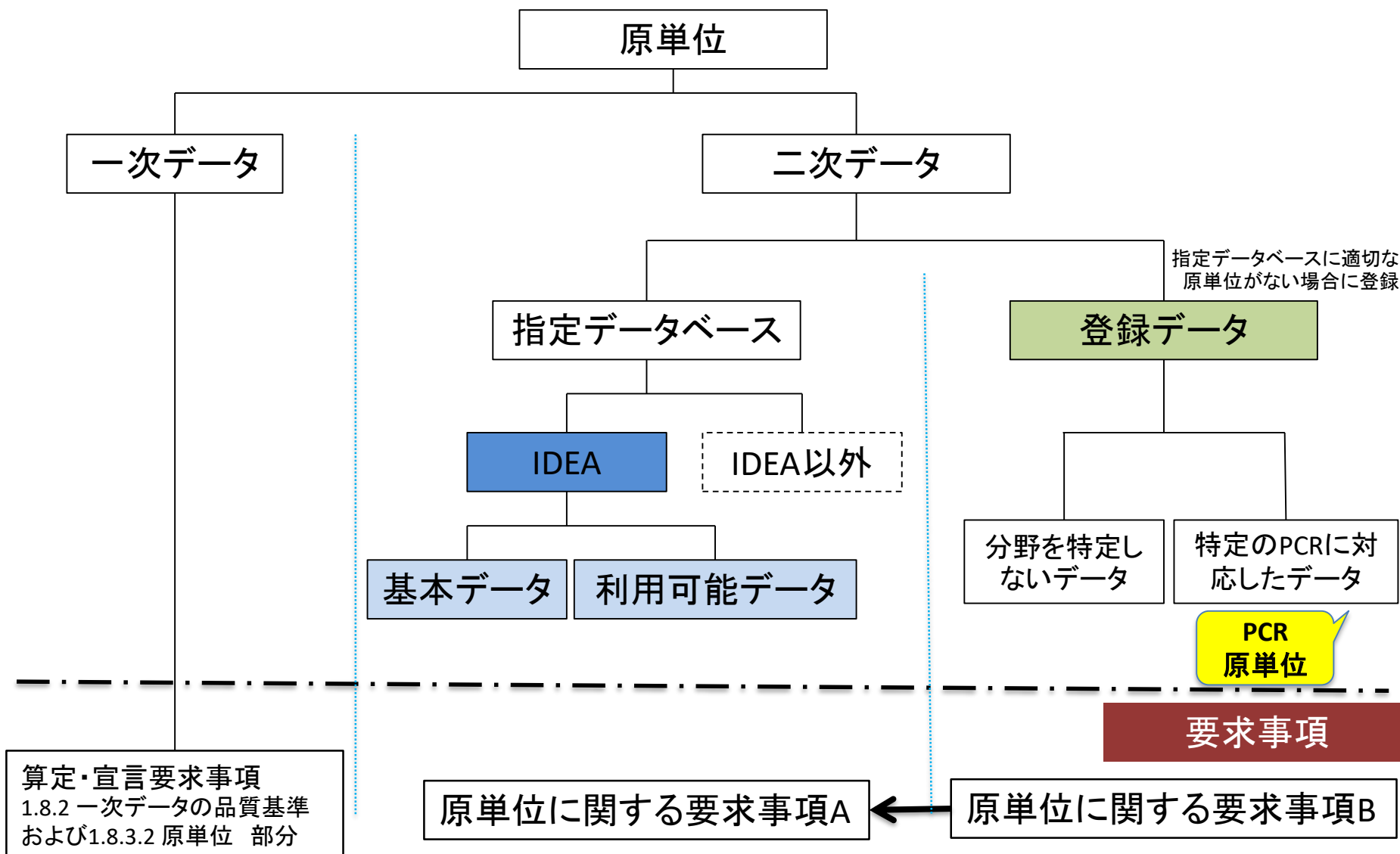
- IDEA非購入者の場合、算定ツールに搭載された「基本データ」、「利用可能データ」(数の制限あり)のみ使用可能。
 - 基本データ: IDEAから協会が抜粋
 - 利用可能データ: 基本データを補完するため、件数を制限して追加でIDEAから選択される原単位データ。(基本データと合わせて1000データ以内)
- IDEA購入者の場合、IDEAのデータがすべて使用可能。(ただし、IDEAデータベースは継続更新されていくものであり、最新のIDEA v2と算定ツールでのIDEA v2のバージョンが同一ではない場合がある。)

登録データ

上記データベースに適切な原単位がない場合は、本プログラムの基準を満たした「登録データ」を作成し、レビューパネルで認められたものについて使用することができる。

このうち特定のPCRに限定して使用するものをPCR原単位という。

原単位の分類



算定ツール② ツールの構成

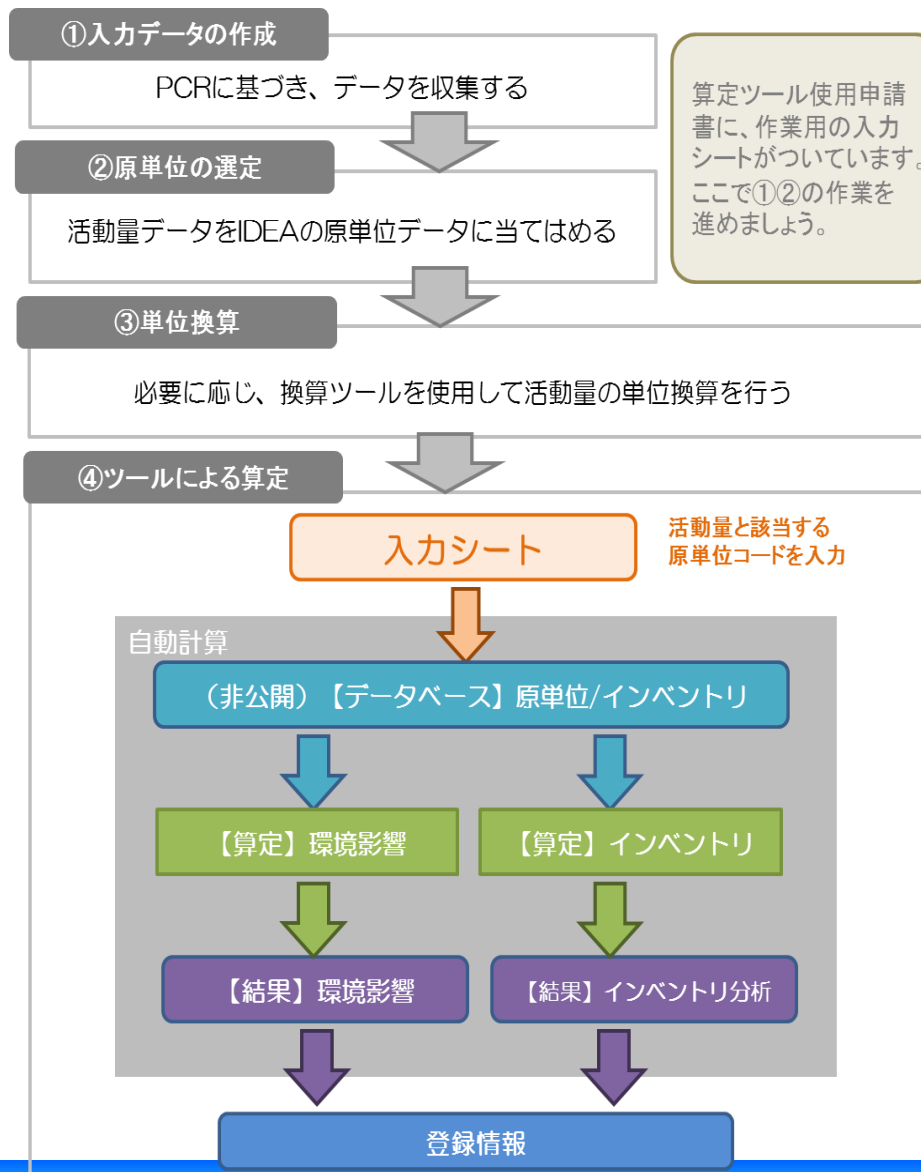
算定ツール

収集したデータ(活動量)を入力し、原単位を選択することで、算定及びJEMAI環境ラベルプログラムの宣言形式に出力を実施。

算定ツールの算定ステップについて

- ・算定ツール使用申請書で②原単位の選定を行い、利用可能データの申請を行う(非購入者)
- ・必要に応じて使用申請書の「単位換算表」を用いて単位換算を行う
- ・「算定ツール」の貸し出しを受け、算定、宣言案の作成を行う

<全体像>



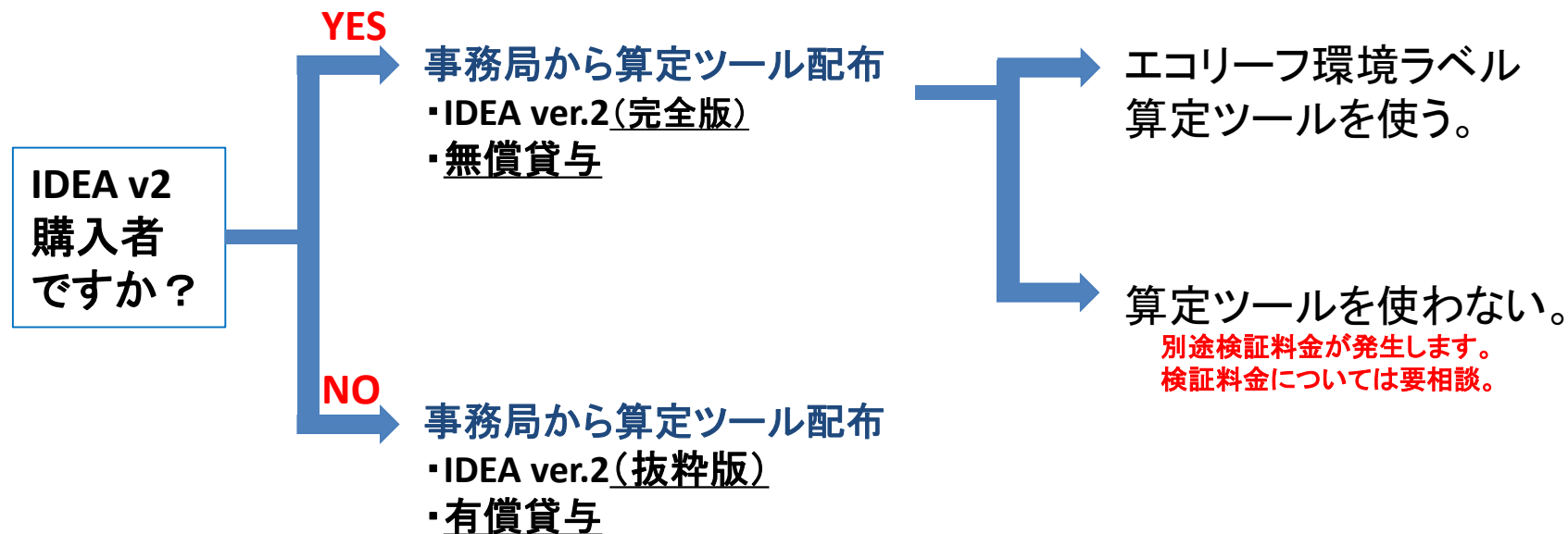
算定ツール① 算定ツールの使用について

<算定ツールの役割>

算定ツールは、本プログラムにおいて宣言の数値を算定する手段及びそのための原単位の提供を目的としたものである。

<検証書類の提出方法について>

新プログラムの検証申請書作成は以下の2通りがある。



算定ツール③ ツール上でできること

エコリーフ環境ラベル 算定ツール シート一覧表								
↓シート名を選択してクリックすると、該当の様式へ移動します。								
デフォルトの表示シート	作成		No.	シート名	様式名	ウェブサイト	検証員	入力者
●	—	管理用	0-1	シート一覧表	シート一覧表	-	-	-
●	—		0-2	概要・改訂履歴	概要・改訂履歴	非公開	公開	公開
●	●	全般	1	申請書	申請書	非公開	公開	公開
●	●		2	チェックリスト	検証申請書セルフチェックリスト	非公開	公開	公開
●	●		3	フロー図	フロー図	非公開	公開	公開
●	●		4	製品構成図	製品構成図	非公開	公開	公開
●	●		5	データ根拠	データの根拠	非公開	公開	公開
●	自動		6	【結果】LC影響評価	環境影響結果一覧(段階別)	非公開	公開	公開
●	自動		7	【結果】インベントリ分析	インベントリ分析結果一覧(段階別)	非公開	公開	公開
●	●	宣言	8-1	CFP①	CFP宣言 シート1	公開	公開	公開
●	●		8-2	CFP②	CFP宣言 シート2	公開	公開	公開
●	●		8-3	CFP②+	CFP宣言 シート2 (6段階以上の場合)	公開	公開	公開
●	●		9-1	エコリーフ①	エコリーフ宣言 シート1	公開	公開	公開
●	●		9-2	エコリーフ②	エコリーフ宣言 シート2	公開	公開	公開
●	●	入力&結果	10-1	入力&結果impact	入力&項目別影響評価結果	非公開	公開	公開
●	●		10-2	入力&結果impact②	入力&項目別影響評価結果(6段階目以降)	非公開	公開	公開
●	●		10-3	入力&結果impact(間接影響)	入力&項目別影響評価結果(間接影響)	非公開	公開(任意)	公開(任意)
●	自動	項目別LCI結果	11-1	結果inventory	項目別インベントリ分析結果	非公開	公開	公開
●	自動		11-2	結果inventory②	項目別インベントリ分析結果(6段階目以降)	非公開	公開	公開
●	自動		11-3	結果inventory(間接影響)	項目別インベントリ分析結果(間接影響)	非公開	公開(任意)	公開(任意)
●	—	管理用	0-3	【DB】原単位	IDEA原単位/特性化データ	非公開	非公開	非公開

環境影響・インベントリ
分析結果をまとめて表示

公開情報作成

【算定の入力はこちらだけ】
活動量と原単位コード

英語版の公開を希望する場合は、https://ecoleaf-label.jp/entry/application_form.html#FB-06 より「FB-06 英語版宣言様式」をダウンロードしてご使用ください。

検証手続きの流れについて

検証申請

検証を受けたい内容・希望スケジュール等を事前にお知らせください。検証員をアサインします。

検証書類送付

当初予定に従い、検証書類をご送付ください。

検証

原則として書面で検証を行います。

検証報告書提出

検証員が検証報告書を作成します。

レビューパネル

検証報告書をもとに、レビューパネルで確認を行います。

合否判定

事務局より、合否を連絡します。

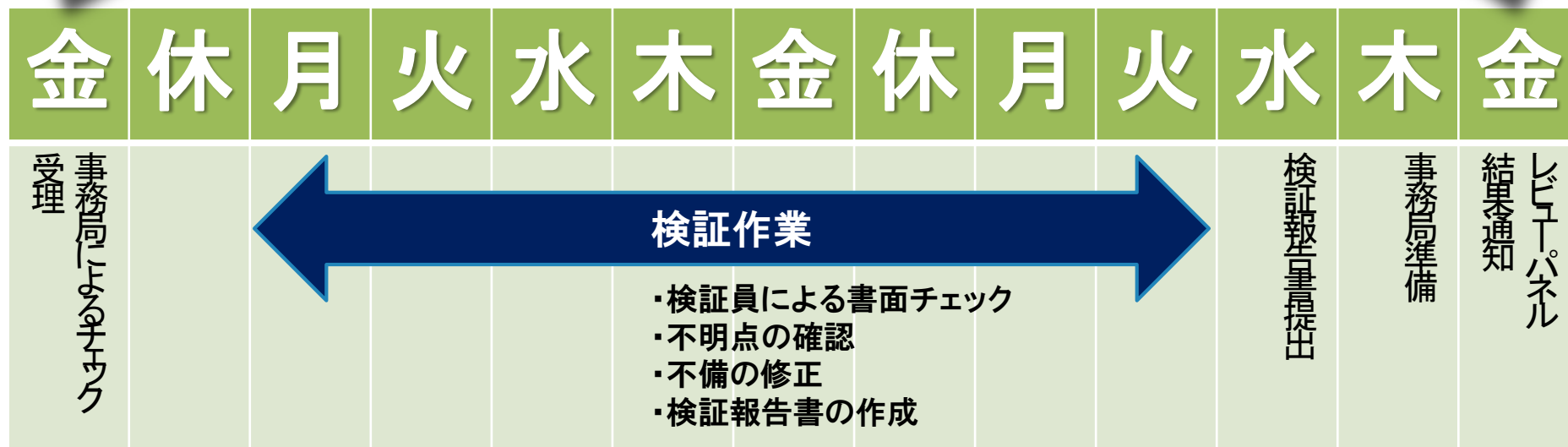
検証スケジュールについて

最短10営業日を目安とします。

検証員からの報告書が水曜日までに到着したものについて、金曜日のレビューパネルで審議をします。(原則)

検証申請

結果通知



書面検証を原則とします。

- ・申請者は「根拠シート」を作成します。
検証では書面でその算定方法、数値計算等がされているかを確認します。
- ・根拠シートに記載された、算定の元となる数値（配分前の原材料投入量や工場のエネルギーデータ、輸送距離等）は基本的に事業者の責任となります。（著しい矛盾があると思われる場合のみ確認します。）
- ・検証では、元の数値そのものではなく、数値が出てきた根拠となる資料がきちんと明記されているかを確認します。
- ・計算式については、内容を確認します。
- ・計算された数値のチェックだけでなく、公開する宣言の記載内容も確認します。（文章で書かれていることが、数値情報と矛盾しないか、PCRで定めた記載方法と異なっていないかなど）

◆関連する規定文書との適合性

算定・宣言に関する要求事項、チェックリストに準拠しているか

◆該当するPCRとの適合性

製品の対象範囲、算定方法だけでなく、開示方法等についての指示事項がある場合、それも含めて 適合しているか。

◆トレーサビリティの確保

データの出典、データ作成者が明記されているか。

(記載を基に同じ情報にアクセスできる程度の書き込みがされているか)

◆対象環境影響

公開する宣言がCFPのみの場合、気候変動に絞って検証を実施する。

エコリーフで公開をする場合は、複数の環境影響のチェックを行う。

根拠シートの記載について (これまでのエコリーフにはなかったもの)

【根拠シート記載例】

製品の仕様書における各種部材の重量構成比を把握する。キャップ部材の重量は4.545kgであった。社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。

・計算式: 投入樹脂重量 = キャップ部材の重量 × (1 + 端材発生割合)

$$5.00(\text{kg}) = 4.545(\text{kg}) \times 1.1$$

エビデンス: 製品仕様書 社内生産管理システム●●

【検証で確認する内容】 = 検証員が責任を持つ範囲

- ・説明文・計算式に矛盾がなく、PCRで定めた方法に反していないか。
- ・計算結果の値があっているか。
- ・エビデンスの記載でトレースが可能そうか。

【原則として確認されないこと】 = 事業者が責任を持つ範囲

- ・キャップ部材の重量が4.545kg、投入樹脂量が10%であるということ
- ・エビデンスがラベル公開期間中保存されること

統合後の宣言（公開情報） カーボンフットプリント



カーボンフットプリント
CFP宣言
登録番号： CR-BS05-17002

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区鍛冶町2-2-1
<https://www.jemai-label.jp>

wellco 安心品質を。
株式会社 ウェル・コーポレーション

※サンプル
ウェルレーベル/ごみゼロラベル



1 ページ

製品単位

1ロット50枚積層

算定対象段階

原材料調達・生産・流通・使用・廃棄

製品情報

ライナーレスラベル
仕上がりサイズ：80mm×116mm
ページ数：50枚積層、色数2/0色
製品重量：48.6g

製品に関する問い合わせ
株式会社ウェル・コーポレーション
076-277-9811
<https://www.well-corp.jp/>

登録番号	CR-BS05-17002
適用PCR番号	PA-BS-05
PCR名	商業および一般証券印刷
公開日	2017年 1月 17日
検合格日/更新日	2017年 1月 16日
検証方式	個別検証方式
検証番号	CV-BS05-17002
検証有効期間	5年間 ※

PCRレビューの実施

認定日	2008年1月1日
委員長	●●● (所属)
第三者検証者*	
外部検証員	●●●
ISO/TS14067に従った本ラベル及びデータの独立した検証	
□ 内部 ■ 外部	



カーボンフットプリント
CFP宣言
登録番号： CR-BS05-17002

CFP算定結果

算定単位 1ロット50枚積層

項目	数値	単位
ライフサイクル段階全体	2.10E+00	kg-CO ₂ eq
内訳	①原材料調達段階	2.10E+00 kg-CO ₂ eq
	②生産段階	0.00E+00 kg-CO ₂ eq
	③流通段階	0.00E+00 kg-CO ₂ eq
	④使用・維持段階	0.00E+00 kg-CO ₂ eq
	⑤廃棄・リサイクル段階	0.00E+00 kg-CO ₂ eq
CFPマークへの表示		kg-CO ₂ eq
表示単位：	1枚あたり	



CFPの掲載内容は
ほぼ従来通りです。

●追加情報



●CFP算定結果の解釈

原材料調達段階における温室効果ガス排出量が最も多くなりました。これは、購入原料である用紙の生産に起因するものが大部分でした。ただし、原料使用量は当社データを利用していますが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。

●利用した二次データの考え方

JEMAI環境ラベルプログラム基本データを利用し、PCR原単位で補完した。

変更点（追加）

- ①PCRレビューの実施者、認定日等
- ②第三者検証者の名前、適合ISO等

統合後の宣言（公開情報） エコリーフ①



エコリーフ
タイプⅢ環境宣言 (EPD)
登録番号：JR-（申請時は記入不要です）

エコリーフ環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区船場町2-2-1
https://www.jemai-label.jp

日本飲料株式会社
Japan drink company

富士の湧水 (2L ペットボトル)
Fuji spring water (2L PET bottle)



※サンプル

測定単位
1本 (2000ml)

測定対象段階
■最終財 □中間財
原材料調達、生産、流通
使用・維持管理、廃棄・リサイクル

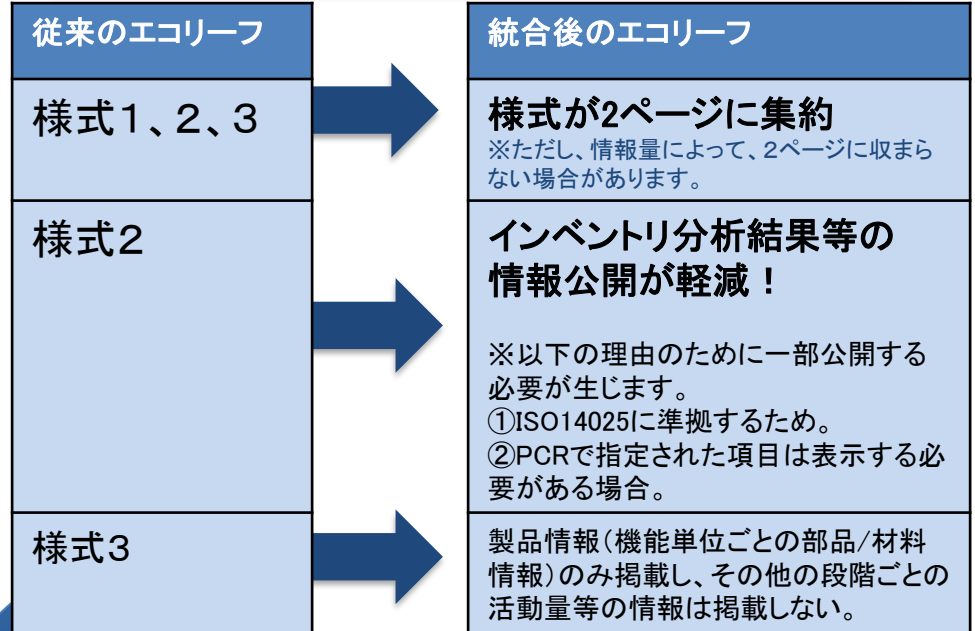
製品の型式、主要仕様・諸元
名称 ミネラルウォーター
原材料名 水 (湧水)
内容量 2000ml

問い合わせ先
日本飲料株式会社
山梨県山梨市富士1-1-1
055-123-456
http://jaopandrink.jp

PCR名 清涼飲料
公開日 xxx年YY月ZZ日 (申請時は記入不要です)
検証合格日 xxx年YY月ZZ日 (申請時は記入不要です)
検証方式 個別検証方式
検証番号 JV- (申請時は記入不要です)
検証有効期間 #VALUE!
PCRレビューの実施
認定日・改定日 2017年 12月 1日
委員長 環境 太郎 (所属)
第三者検証者*
外部検証員 産業 一郎
ISO14025に従った本書裏及びデータの独立した検証
□内部 ■外部

登録番号：R-（申請時は記入不要です）

エコリーフは公開の情報量が軽くなります。
LCA情報は2枚目に集約して掲載。



以前はこれだけの情報量。

様式2、3

統合後の宣言(公開情報) エコリーフ②



エコリーフ
タイプⅡ環境宣言 (EPD)
登録番号:申請時は記入不要

JEMAI環境ラベルプログラム
一般社団法人産業環境管理協会
東京都千代田区船場2-2-1
https://www.jemai-label.jp

①ライフサイクル影響評価結果

気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	560	g (CO2換算)	
酸性化	0.96	g (SO2換算)	
資源消費	0.027	g ODP換算	

内訳	項目	単位	合計	原材料調達	生産	流通	使用	廃棄・リサイクル
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO2eq	5.6.E-01	2.6.E-01	7.6.E-02	2.0.E-01	0.0.E+00	2.3.E-02	
酸性化	kg-SO2eq	9.6.E-04	2.1.E-04	2.6.E-05	7.2.E-04	0.0.E+00	7.3.E-06	
資源消費	kg-CO2eq	4.2.E-04	1.4.E-04	1.0.E-05	2.6.E-04	0.0.E+00	3.6.E-06	
有害化学物質(発がん性)	kg-C6H6eq	7.9.E-07	4.5.E-07	3.5.E-07	6.6.E-11	0.0.E+00	-8.5.E-09	
有害化学物質(毒性)	kg-C6H6eq	1.2.E-07	6.6.E-08	5.1.E-08	9.7.E-12	0.0.E+00	-1.5.E-09	
水生生物毒性	kg-C6H6eq	1.8.E-04	1.0.E-04	7.8.E-05	1.5.E-08	0.0.E+00	-2.2.E-06	
陸生生物毒性	kg-C6H6eq	4.3.E-03	2.4.E-03	1.9.E-03	3.6.E-07	0.0.E+00	-5.3.E-05	
富栄養化	kgPO43-ec	2.8.E-08	1.8.E-08	9.8.E-11	1.4.E-15	0.0.E+00	9.6.E-09	
土地利用(維持)	m2a	1.6.E-02	1.7.E-03	1.1.E-04	1.5.E-02	0.0.E+00	4.7.E-05	
土地利用(改良)	m2	3.7.E-04	7.4.E-05	2.2.E-06	2.9.E-04	0.0.E+00	1.0.E-06	
資源消費	kgSb-eq	2.7.E-05	2.6.E-05	3.5.E-07	8.4.E-07	0.0.E+00	2.8.E-08	

算定ツールの作業では...

- ①IDEAで算定できる段階別の環境影響・インベントリ数値は、算定ツール上ですべて自動計算される。
- ②表示項目については、PCR等で指定され、企業自ら選択項目を表示することが可能。

JEMAI環境ラベルプログラム
一般社団法人産業環境管理協会
東京都千代田区船場2-2-1
https://www.jemai-label.jp

有害化学物質		kg
その他の有害物質		kg

⑥-1.その他の環境関連情報
ISO14001認証取得工場で生産している。

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
物質名		
物質名		

⑦使用した原単位の考え方
IDEA v2.1.3 を利用した。

⑧備考

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。(参照先URL: <http://www.jemai-label.jp/regulation/>)

登録番号: JR- (申請時は)

③ライフサイクルインベントリ分析結果詳細

項目	単位
非再生可能元素・非再生材料	kg
非再生可能エネルギー	kg
再生可能エネルギー	MJ
再生可能材料・光害	kg
再生可能エネルギー	MJ
土地占有	m2a
土地改良	m2
排水	m3
排水の消費	m3
大気排出	kg
水質排出	kg
廃棄物	kg
排出 CO2; 化石由来由来	kg
資源消費 44.7MJ/kg, 等	kg

※サンプル

変更点(削除)

既存公開ラベル 様式2、3のインベントリ分析結果の縮小

- ①目的
ISO14025の要求事項に最低限適合するように、公開情報を限定した。
- ②補足
国外の制度などで別途要求される事項は、PCRや企業ごとに公開内容を決定する。

システム認証の一本化

- 従来のエコリーフとCFPでは、各々別の仕組み(システム)となっていたものを統合したシステム認証として一本化する
- 新たな統合システム認証は、2018年4月にスタート
- SuMPO及びSuMPO以外の第三者認証機関が審査を実施

統合プログラム料金：外部検証料

方針：

- ・ エコリーフもCFPも書類検証にする。エコリーフは検証負荷が減るため、検証料金は下がる。
- ・ エコリーフは複数の環境影響領域をカバーするため、CFPより検証の負荷が比較的多いことを考慮。
- ・ CFPはもともと書類検証なので、検証料金は変わらない。
- ・ エコリーフとCFPの類似製品（同時検証）の考え方は継続。

（消費税抜き）

		CFP		エコリーフ	
		金額(単価)	検証料金	金額(単価)	検証料金
個別(1製品)		¥100,000	¥100,000	¥170,000	¥170,000
同時*	2製品	¥50,000	¥100,000	¥85,000	¥170,000
	3製品	¥50,000	¥150,000	¥85,000	¥255,000
	4製品	¥50,000	¥200,000	¥85,000	¥340,000
	5製品	¥50,000	¥250,000	¥85,000	¥425,000
	6製品以上	¥45,000	¥270,000～	¥76,500	¥459,000～

* 類似製品チェックシート上で基準に適合した製品を同時に申請した場合にかぎる。

統合プログラム料金：登録公開料

方針:

- CFPとエコリーフで共通の考え方に従ったシンプルな料金体系を導入
- 中小企業の参加容易性
- プログラムの継続性
 - 導入時期：2018年1月以降の統合プログラム参加時点から（新規参加の事業者：2017年4月～）
 - 登録公開料は、原則として請求対象とする企業が販売するJEMAI環境ラベルプログラム登録・公開対象製品の1年間の全売上額に対して区分を適用します。
 - 登録公開料の当初の算定対象期間は、登録月の翌月1日から起算して当年12月末までとします。翌年からは、1月から12月の1年単位で更新します。
 - 区分のうち、中小企業とは中小企業基本法に定める定義によるものとします。

（宣言単位料金） ※新規事業者およびエコリーフの特定の事業者のみ選択可

100,000円／宣言・年

累計4宣言まで

【移行措置】

移行期間（2020年度末まで）においては、登録公開料に以下の移行措置を設定する。

- 製品売上単位料金
 - 料金の上限を100万円とする
- 宣言単位料金
 - 料金を5万円／宣言とする

（製品売上単位）

（消費税抜き）

企業単位での登録製品年間売上額	登録・公開料(円)／ 1年あたり	
	区分	単価
0円（販売を目的としないもの）	一律	10,000円
1,000万円未満	一律	20,000円
1,000万円以上3,000万円未満	一律	30,000円
3,000万円以上1億円未満	一律	60,000円
1億円以上3億円未満	中小企業	130,000円
	その他企業	140,000円
3億円以上10億円未満	中小企業	260,000円
	その他企業	330,000円
10億円以上30億円未満	中小企業	390,000円
	その他企業	770,000円
30億円以上100億円未満	中小企業	450,000円
	その他企業	1,100,000円
100億円以上300億円未満	中小企業	500,000円
	その他企業	1,300,000円
300億円以上	中小企業	500,000円
	その他企業	1,500,000円

統合プログラム料金：その他

(消費税抜き)

PCR認定料

- 110,000円／PCR(事前レビュー有り)
- 30,000円／PCR(事前レビュー無し)

(PCR策定WGで策定し、申請した場合の認定料は無償とします)

算定ツール貸与料

- 3ヶ月：30,000円
- 6ヶ月：40,000円
- 12ヶ月：70,000円

(延長期間、使用目的などは既存のエコリーフ環境ラベル作成支援システムと同じルールを適用します)

PCR原単位チェック料

- 基本単価:10,000円／時間

(工数については、難易度に応じて個別協議)

認定証等

- 1,000円／枚

研修会／個別相談関係

- 算定研修会受講料：30,000円／回
- SuMPO会員割引：24,000円／回

プログラム個別相談料

- 20,000円／時間

入門セミナー／なんでも相談室

- 無料

＜適用タイミングの考え方＞

統合プログラム参加時より適用

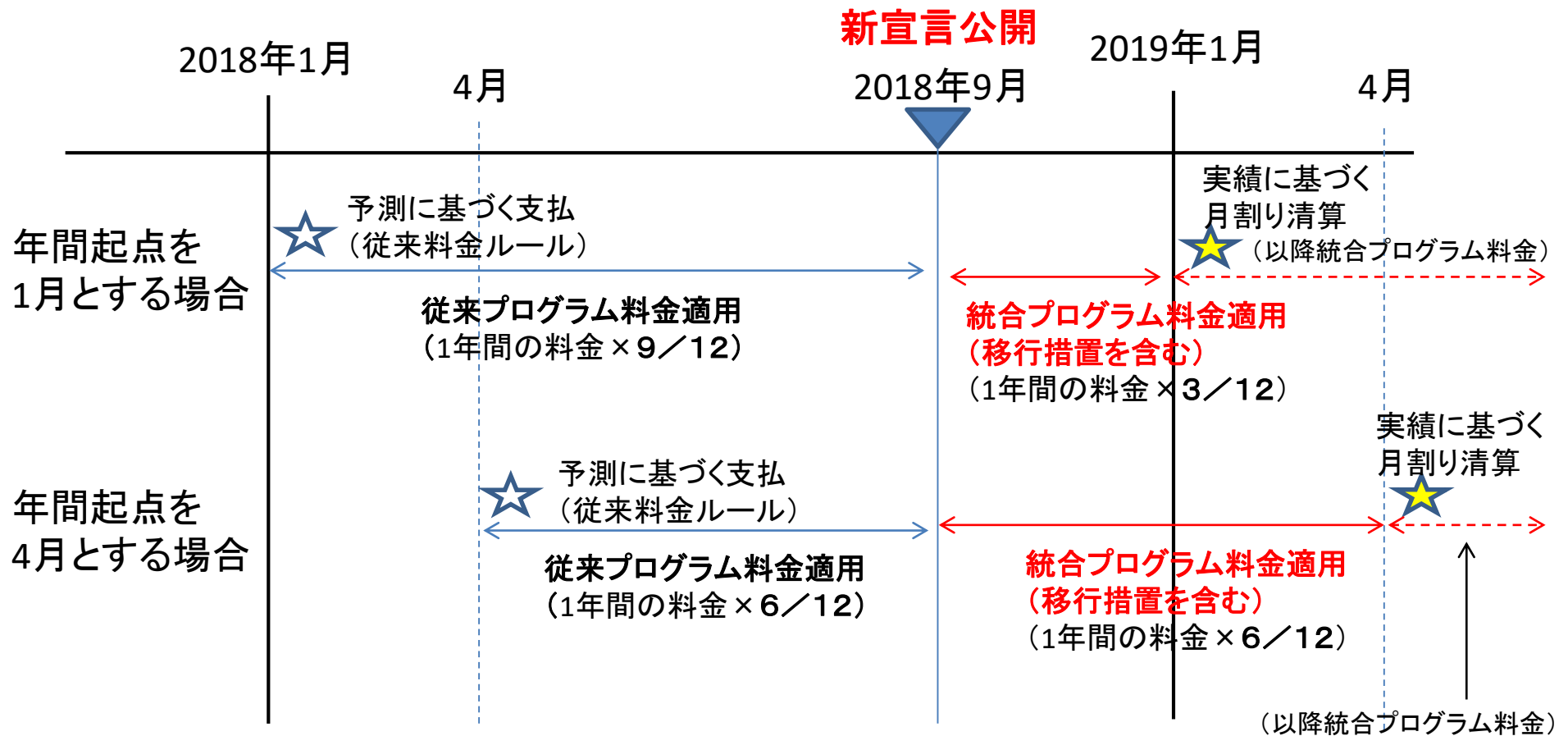
- 統合プログラムによる宣言を公開した時点で、移行措置を含む統合プログラムの登録公開料の適用を行う。
- 登録公開料の算定対象期間(原則として1～12月の1年単位)に対して、統合プログラムによる宣言を公開した時点をもとに
 - ・統合プログラム宣言公開月時点までは従来プログラム料金ルール
 - ・統合プログラム宣言公開月の翌月時点からは統合プログラム料金ルール
(ただし、従来プログラムについては従来登録公開料も選択可能)を各々適用した月割り料金とする。

登録公開料適用ルール: 統合プログラム参加時



統合プログラム料金体系へ登録公開料を統一の場合

＜適用タイミングの例／統合プログラム参加時より適用＞
(2018年9月に統合プログラムの宣言を公開した場合)

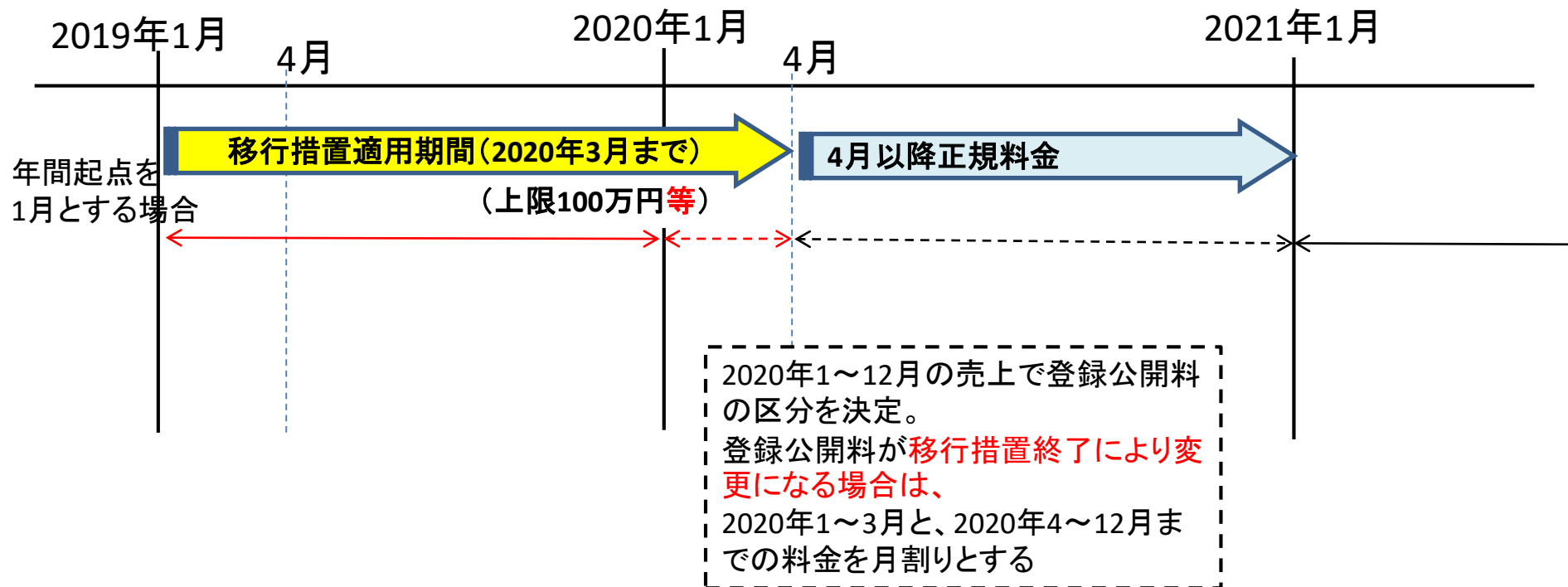


登録公開料適用ルール：2020年3月の移行措置終了時

統合プログラム登録公開料

<2020年3月の移行措置終了時点の対応>

(1月を年間の起点にしている場合)

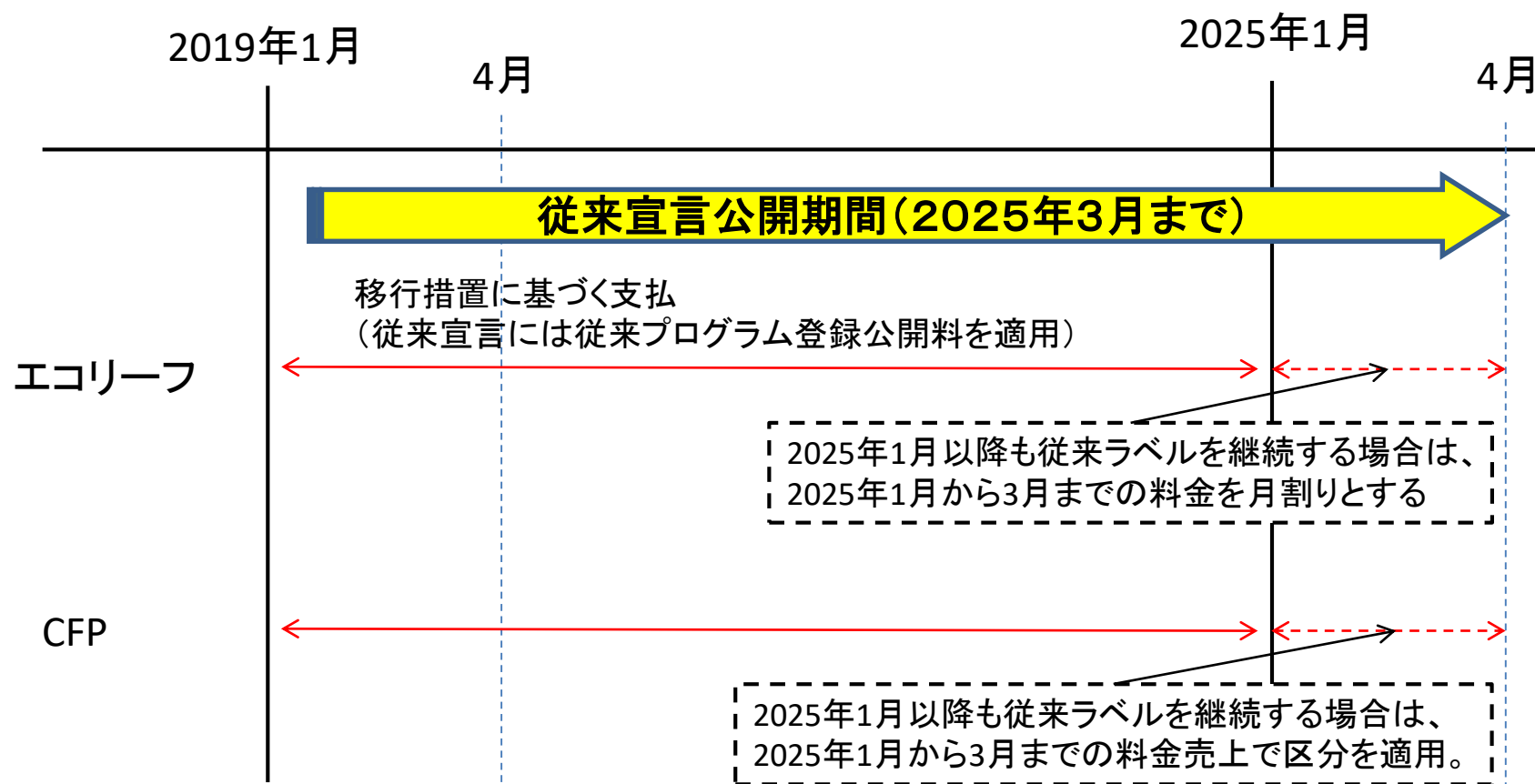


登録公開料適用ルール：従来宣言(ラベル)公開終了時

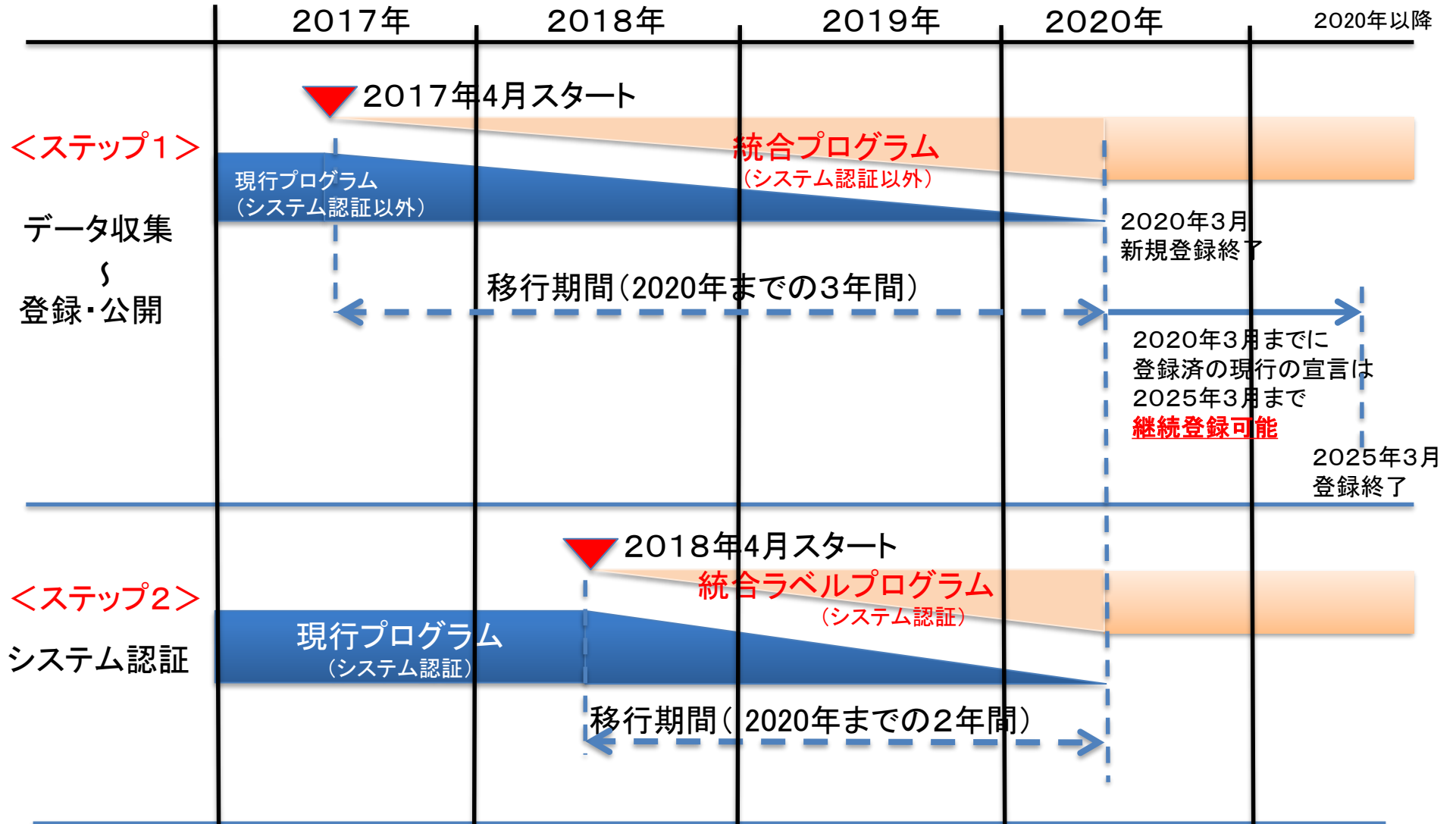
従来プログラム登録公開料

<2025年3月の従来宣言(ラベル)公開終了時点の対応>

(従来宣言(ラベル)に対して従来プログラム登録公開料を選択している場合であって、かつ1月を年間の起点にしている場合)



従来プログラムから統合プログラムへの移行スケジュール



2017年4月以降に新規参加の事業者は従来プログラムを利用出来ません

さんぽ わざ
心豊かな未来をSuMPOの業で創ります



SuMPO

Sustainable Management Promotion Organization

一般社団法人サステナブル経営推進機構

LCAセンター エコリーフ事業室
エコリーフ環境ラベルプログラム事務局

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル

TEL : 03-5209-7712 Fax : 03-6687-7360

E-Mail : ecoleaf@sumpo.or.jp URL : <https://ecoleaf-label.jp>